

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	4-1-3		事業名	協働による雨水浸透の推進
担当	建設局下水道河川部下水道計画課 佐々木 818-3441			
全体計画				
事業内容	道路の舗装や建物の面積が増え、雨水のほとんどが地面にしみ込まず、下水道管に流れ込み、浸水が起こりやすい状況となっている。 このため、浸水の防除及び水とみどりのうるおいのあるまちづくりを目指し、市民、企業、行政の協働により、地域全体で雨水を適切に地中へしみ込ませる取り組みを進める。		<年度別の事業内容>	
			19年度	他都市事例調査 雨水流出抑制に関する情報提供と意向把握
		20年度	新たな開発における雨水流出抑制量の設定 雨水流出抑制の技術基準(案)策定	
		21年度	雨水流出抑制の制度内容の検討	
		22年度	雨水流出抑制に関する要綱、技術基準の策定	
事業内容	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	○他都市事例調査 ・他都市事例の比較検討 ○雨水流出抑制に関する情報提供と意向把握 ・下水道パネル展による情報提供 ・下水道モニター制度による情報提供と意向把握		○新たな開発における雨水流出抑制量の設定 ○雨水流出抑制技術基準(案)策定 ・雨水の貯留・浸透施設に関する設計等の指針(案)	
事業場所	平成21年度事業内容(予算)		平成22年度事業内容(予算)	
	雨水流出抑制の制度内容の検討 ・雨水流出抑制実施要綱(案)策定			
事業規模				
事業件数				
事業数				

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2)

計画体系コード	4-1-3			事業名	協働による雨水浸透の推進		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (実 績)	21年度末 (予 定)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)	
雨水流出抑制に関する要綱等の策定	-	他都市事例 調査	技術基準 (案)策定	制度内容の 検討	要綱等策定	要綱等策定	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>市民との連携、市民参加 下水道事業のパンフレットの配布、下水道パネル展等により下水道事業のPR及び市民の理解の促進を図る中で、協働による雨水浸透についても公表している。また、下水道モニター制度により市民意見の収集、情報の共有化を図っている。</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力] [人材協力] [情報協力] [その他の協力] 市民・企業等が参加しやすい環境づくり</p>							
評価(成果)				課題			
<p>・本市のこれまでの雨水対策や他都市の事例等を踏まえ、新たな開発における雨水流出抑制量を設定することができた。 ・雨水流出抑制技術基準(案)策定を通じ、雨水の貯留・浸透に関する手法、施設の設計方法等について整理することができた。</p>				<p>協働による雨水浸透の促進を目指し、市民、企業が取り組みやすい制度内容について検討する必要がある。</p>			
今後の事業の予定・方向							
<p>雨水流出抑制に関する制度内容の検討にあたっては、関連する制度との調整を図りながら進めていく。また、今後は雨水流出抑制を促進するための情報提供についても検討を進める。</p>							

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

計画体系コード		4-1-3		事業名	協働による雨水浸透の推進		
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	-	-	-	-	-	
	財源内訳						
	国・道支出金						
	市の債						
予算	事業費	0	0	0	-	0	
	財源内訳						
	国・道支出金	0	0	0		0	
	市の債	0	0	0		0	
実績	事業費	0	0	-	-	0	
	財源内訳						
	国・道支出金	0	0			0	
	市の債	0	0			0	
事業費の進捗率		(H19実績事業費 + H20実績事業費 + H21予算事業費) / (計画事業費)				-	
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)							
(全体)							
[19年度]							
[20年度]							
[21年度]							